

FMアップルウェーブ 第54回番組審議会

開催日時	平成21年2月21日(土) 12:30～
開催場所	菊富士(弘前市坂本町)
出席委員	委員長 佐藤 圭一郎、 副委員長 工藤 茂起、 委員 相内 英之、 佐藤 浩之、 渋谷 拓弥、 吉澤 葉子、
会社側出席者	専務取締役 一戸 勝美 取締役 田中 尊、 取締役 波多野 厚緑、 取締役 倉田 昌直、 取締役 成田 尚三 放送部統括マネージャー 玉田 雅規 放送部チーフ 稲葉 みどり
議題	(1)番組に対する意見要望 (2)次回開催日について 平成21年5月2日を予定 *変更の場合は前もって連絡
議事の概要	<p>○各委員が質問と意見や気が付いた点を述べる形で議事が進行した。</p> <p>1)課題番組『こどものころ』 毎週金曜 午前10:50～11:00 『丹代香子女優への道2』 毎週土曜 午後15:00～15:10</p> <p>①『こどものころ』は、こどもの心に帰ることが出来るいい番組。BGMやSEなどを加えていけばより良くなるのではないかと。『丹代香子女優への道2』は、清水 司さんが(演技が)上手だった。効果音の使い方も良かった。おもしろい番組だと思った。</p> <p>②『こどものころ』は、こどもの思いを強弱をつけて朗読するナレーションが良いと思った。敢えて想像力を掻き立てられる点からすればBGMがない現状のままの方がイメージを描けるのでむしろ良いと思った。『丹代香子女優への道2』は、女優道的なトークが「ラジオドラマ本編」の前後にあれば全体的にまとまるのではないかと。前後で清水 司さん側からの指導があればなおよい。</p> <p>③『こどものころ』は、話し手が上手で聴きやすかった。朗読にBGMがあった方がなごむと思った。『丹代香子女優への道2』は、フリートークで3人のトークがかぶっていたのが気になった。</p> <p>④『こどものころ』は、津軽弁が入っている番組だと思った。『丹代香子女優への道2』は、厳しい時代なので明るく笑える時間があったらよかった。ぜひ劇団の宣伝を加えて欲しい。</p> <p>⑤『こどものころ』は、上手でも下手でもいいので本人に読ませるべきではないか。プロが読むよりもむしろイメージしやすいのではないかと。本人が読むことによって住民参加、子ども参加の番組になるのではないかと。『丹代香子女優への道2』は、丹代さんは敢えて素人っぽくしているのはいかがでしょうか？ シリーズで1・2・3・・・と繋がっていくのだろうと解釈している。</p> <p>⑥『こどものころ』は、パーソナリティの話し方が素晴らしい。「文集ひろさき」を紹介するという点において教育界に携わってきた人間として有難い気持ち。『丹代香子女優への道2』は、とても楽しい番組であった。</p> <p>2)その他の意見・要望</p> <p>先日3日間朝から夜まで番組を聴いてみて改めて思ったのはアップルウェーブ制作の「Station Of Dreams」とキャスト制作の「まち育てないと」の素晴らしさである。出演の現役中学教諭 小笠原先生、弘前大学の北原先生の努力を讃えたい。</p> <p>【審議機関の答申または改善】</p> <p>専務取締役一戸より平成21年4月番組改編に向けての新たな取り組み等が報告された。具体的には現在番組改編作業中であることと、また次年度から具体的に構築していく情報収集手段として「FMアップルウェーブ情報特派員」制度をはじめの旨の報告があった。</p> <p>○審議機関の答申または改善意見の公表</p> <p>1)議事録を本社に配備し、社内各部署に配布 2)FMアップルウェーブのホームページに掲載</p>